

商品名 ベタメタゾン吉草酸エステルクリーム0.12%「TCK」 医薬品基本情報

薬効	2646 副腎皮質ホルモン製剤	一般名	ベタメタゾン吉草酸エステル0.12%クリーム
英名	Betamethasone valerate TCK	剤型	クリーム
薬価	6.00	規格	0.12% 1g
メーカー	辰巳化学	毒劇区分	

ベタメタゾン吉草酸エステルクリーム0.12%「TCK」の効能・効果

乾癬、毛孔性紅色皰糠疹、結節性紅斑、紅皮症、掌蹠膿疱症、女子顔面黒皮症、進行性指掌角皮症、ストロフルス、ダリエ遠心性環状紅斑、日光皮膚炎、ピダール苔癬、皮膚そう痒症、扁平苔癬、放射線皮膚炎、虫さされ、ジベルバラ色皰糠疹、光沢苔癬、多形滲出性紅斑、じん麻疹様苔癬、固定じん麻疹、紅斑症、湿疹・皮膚炎群、痒疹群、悪性リンパ腫の紅皮症、ケロイド、痔核、中毒疹、天疱瘡群、凍瘡、癬痕、薬疹、類天疱瘡、慢性円板状エリテマトーデス、悪性円形脱毛症、円形脱毛症、熱傷、ジューリング疱疹状皮膚炎、(中耳根治手術、内耳開窓術、鼓室形成手術)の術創

ベタメタゾン吉草酸エステルクリーム0.12%「TCK」の使用制限等

- ウイルス皮膚感染症、疥癬、けじらみ、動物性皮膚疾患、スピロヘータ皮膚感染症、細菌皮膚感染症、真菌皮膚感染症、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、鼓膜に穿孔のある湿疹性外耳道炎、第2度深在性以上の熱傷、第2度深在性以上の凍傷、潰瘍<ベーチェット病は除く>
- 皮膚感染を伴う湿疹・皮膚炎

記載場所 使用上の注意

注意レベル 禁止

記載場所 効能・効果

注意レベル 原則禁止

ベタメタゾン吉草酸エステルクリーム0.12%「TCK」の副作用等

- 眼圧亢進、緑内障、後嚢白内障
- 過敏症、皮膚刺激感、接触性皮膚炎、発疹、中心性漿液性網脈絡膜症、皮膚感染症、皮膚細菌感染症、伝染性膿痂疹、毛囊炎、せつ、皮膚真菌症、皮膚カンジダ症、皮膚白癬、皮膚ウイルス感染症、ステロイドざ瘡、白色面皰、ステロイド酒さ、口囲皮膚炎、口囲紅斑、顔面全体紅斑、丘疹、毛細血管拡張、痂皮、鱗屑、ステロイド皮膚、皮膚萎縮、下垂体・副腎皮質系機能抑制、急性副腎皮質機能不全

記載場所 重大な副作用

頻度 頻度不明

記載場所 その他の副作用

頻度 頻度不明

3. 魚鱗癬様皮膚変化、紫斑、多毛、皮膚色素脱失

記載場所 その他の副作用

頻度 5%未満

4. 全身投与した場合と同様な症状、発育障害

記載場所 使用上の注意

頻度 頻度不明



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.